



箕面小だより



箕面市立
箕面小学校
令和7年(2025年)
11月号

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

ともに未来へ

校長 垣内 幸太

ようやく秋の風が心地よく吹き抜ける季節となりました。青く澄んだ空の下、運動場では子どもたちが運動会に向けて練習に取り組んでいます。仲間と声を掛け合いながら息を合わせる姿、そして失敗しても諦めずに何度も挑戦する姿…。その一つひとつに、子どもたちの成長と、心の強さ、そして未来への希望を感じます。

保護者の皆様には、運動会当日は、子どもたちの努力の結晶を、ぜひご覧いただき、多くのご声援を送っていただけますと幸いです。皆様の応援は、子どもたちにとって何よりの励みとなり、心の支えとなります。また、子どもたちが安心して力を発揮できるよう、安全面へのご配慮や運営へのご協力をお願いします。

さて、今月初めには、大阪関西万博への遠足を実施しました。20万人以上の来場者が集う中での引率は、私たち教職員にとっても未知の挑戦でした。広大な会場、複雑な動線、そして多様な文化が交差する空間…。その中で、子どもたちが安全に、そして充実した時間を過ごせるよう、教頭を先頭に、各学年の教員が何度も話し合いを重ね、細部にわたる工夫を凝らしました。そして、無事に遠足を終えて学校に戻ってきたとき、教員たちの顔には安堵とともに、どこか誇らしげな充実感がにじんでいました。子どもたちの笑顔と達成感に満ちた表情を見届けた瞬間、私たち自身も「やり遂げた」という思いに包まれたのでしょうか。手前味噌ながら、今回の遠足を通して、教員一人ひとりのたくましさ、子どもたちへの深い愛情を改めて実感することができました。

当日、その教師の願いも伝わったのか、子どもたちも落ち着いて集団行動をしていました。広い会場の中でも、先生の指示をしっかりと聞き、仲間と協力しながらパビリオン間を移動し、展示を見学する姿がありました。外国の方との交流では、緊張しながらも笑顔で挨拶を交わし、言葉を超えた温かいふれ合いが生まれていました。異なる文化に触れ、世界の広さを肌で感じる——そんな体験が、子どもたちの心に深く刻まれたことでしょう。

世界とつながる感覚、異なる価値観に触れる喜び、まさに一生に一度のこの遠足が、子どもたちの視野を広げ、子どもたちの未来への扉を開く貴重な経験となってくれることを願っています。

子どもたちは、日々の学びの中で、確かに成長しています。その姿を支えてくださる保護者の皆様、改めて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。私たちは、子どもたちの未来を信じ、彼らが自分らしく輝きながら、力強く歩いていけるよう、これからも全力で支えてまいります。

どうぞ、今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。